

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		31399		地域老人福祉推進事業 (老人クラブ活動費助成事業)	担当課	高根支所 地域振興課		内線
		番組						3721
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け 算の		A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	3	民生費		○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	社会福祉費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	老人福祉費			D	その他事業	
根拠計画								
市長公約		5	医療・福祉を充実させます。 地域住民が互いに支え合う仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	対象者数	9,751 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開と町づくりへの高齢者の参画の促進。		
概要	事業の実施手法(手段)	高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		市連合長寿会に対する支援。 ・会員及び各区、単位クラブに対する活動助成。 ・事務局人件費に対する助成。						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果面	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,000	10,000	10,000	
				実績値	9,584	9,677	-	
		算出根拠等	連合長寿会資料	達成率(%)	96	97	-	
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	143	139	140	
				実績値	139	138	-	
		算出根拠等	連合長寿会資料	達成率(%)	97	99	-	
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	40	
				実績値	38	38	-	
		算出根拠等	連合長寿会資料	達成率(%)	88	95	-	
				目標値				
				実績値			-	
		算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
		算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
		算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			420	420	420		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)			150	149	280	
		一般財源			270	271	140	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A÷B)			5,753	6,000	6,000	
		受益者	高根区会員数(4/1現在) (B)		73	70	70	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	B	・高齢者が住み慣れた地域で、他の高齢者や住民と交流を持ちながら、健康で日常生活を送るための活動として、市民の関心は高く、地域活動にも根付いているが、高齢者のニーズの多様化により加入者は減少傾向にある。
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市は、老人福祉法(第十条の三第一項)の規定により、老人クラブなどの老人福祉を増進することを目的とする事業を行う者の活動の連携及び調整、地域の実情に応じた体制整備に努めなければならないため。
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	B	・老人クラブ加入者は、減少傾向である為、役員等により、組織・活動の見直しに取り組んでいる。
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・長寿会活動に参加することにより、高齢者の健康増進と閉じこもり予防が図れた。
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8	/	10	→	100点換算	80	点
----	--	---	---	----	---	--------	----	---

分析・評価で 明らかになった課題 (「A」評価にするために何が 必要なのかを記入)	・市域全体として、新規加入者が少なく、連合長寿会会員加入率及び単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。
--	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。
-----------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。
---------------------	--

次年度の実施方針 (担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		61199		地域活性化施設振興事業	担当課	高根支所 地域振興課		内線
		番組						
予算	会計	1	一般会計		特別予算の 位置付け		A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	6	商工費			○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	1	商工費				C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	2	商工振興費				D	その他事業
根拠計画			地域振興計画					
市長公約		2	商工業・地場産業をさらに発展させます ◎景気回復を最重要課題として取り組みます					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民		対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	道の駅飛騨たかね工房は、地域の情報発信及び特産品の直売所としてだけでなく、地域の活性化施設として重要な位置づけとなる施設であるが、年間を通じた安定した集客が困難であるため、施設の運営が非常に厳しい状況にある。 よって、施設の安定した運営のため、業務委託料を支出するもの。			
概要	事業の実施手法(手段)	道の駅飛騨たかね工房の安定した運営のため業務委託料を支出するもの。			

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		道の駅飛騨たかね工房業務委託料 6,340千円					
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	年間営業日数		日	目標値	309	310	309
				実績値	309	310	-
	算出根拠等	道の駅調べ		達成率(%)	100	100	-
成果指標	年間入り込み客数		人	目標値	61,500	61,500	55,000
				実績値	48,386	35,400	-
	算出根拠等	道の駅年間入込客数(観光動態調査)		達成率(%)	79	58	-
成果面				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)			6,340	6,340	6,340	
	財源内訳						
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			6,340	6,340	6,340	
	受益者1件当たり(円) (A/B)			131	179	115	
コスト指標	受益者	年間入込客数 (B)	48,386	35,400	55,000		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	道の駅本来の役割の他、地場産商品(農産物含む)の販売や地域情報発信を行っており、地場産業・観光産業の欠かせない存在で、市民のニーズは高い。
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	B	道の駅本来の役割の他、地場産商品の販売や情報発信を行っており、地場産業・観光産業の欠かせない存在であるが、今後さらに効果のある誘客宣伝の実施や経営改善に努め、経営の黒字化により事業者が自己費用で運営可能となるような取り組みが必要である。
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	B	道の駅本来の役割の他、地場産商品の販売や情報発信を行っており、地場産業・観光産業の欠かせない存在である。レストラン部門の休止により入り込み客数はやや減少傾向であるが、地場野菜の販売等農家にとって欠かせない施設である。
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	施設の存続のために最小限の赤字補てん措置を行っており、コスト削減のためレストラン部門を休止するなど財政運営でも改善している。
			B (1)	事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	道の駅本来の役割の他、地場産商品の販売や情報発信を行っており、地場産業・観光産業を発展させるために欠かせない存在である。
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		7	/	10	→	100点換算	70	点
----	--	---	---	----	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・道の駅として、道路交通の円滑な流れを支え、休憩の他、各所や特産品などの情報を活用できるサービスを提供しており、その拠点機能をもつ施設は、ほかに類似するものはなく、施設自体は今後も継続していく必要があるが、地域振興特別予算の業務委託料が無くても、経営の黒字化により事業者が自己費用で運営可能となるような取り組みが必要である。
---	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・特例期間終了を見据え、今後のあり方などについて検討する必要がある。
----------------------	------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地場野菜の販売の拡充を実施。 ・効率的なパート利用の実施など人件費の削減。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		72199		地域道路橋りよう管理振興事業費 (市道未登記用地測量事業)	担当課	高根支所 基盤産業課		内線
		専任						3742
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の		A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7	土木費		○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	道路橋りよう費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	道路橋りよう総務費			D	その他事業	
根拠計画		地域振興計画						
市長公約								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・未登記路線を整理し、市道の適切な管理を行う。		
概要	事業の実施手法(手段)	・市道未登記箇所の測量を行い、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・市道池ヶ洞線、黍生線、調査延長565m(4筆)H25実績						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
活動指標	調査測量済路線延長(現況)		m	目標値	500	500	1,200	
				実績値	1,095	565	-	
	算出根拠等	未登記路線実績調査		達成率(%)	219	113	-	
活動指標	分筆登記済路線延長		m	目標値	400	400	120	
				実績値	0	565	-	
	算出根拠等	未登記路線実績調査		達成率(%)	0	141	-	
成果指標	未登記整備進捗率		%	目標値	6	7	8	
				実績値	5	8	-	
	算出根拠等	分筆登記済路線延長累計/未登記路線延長(27,244m)		達成率(%)	83	114	-	
コスト面				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
	補足事項							
	コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
歳出(千円)			(A)	4,975	5,663	6,000		
財源内訳		受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			4,975	5,663	6,000	
コスト指標		受益者1件当たり(円)			(A)÷(B)	11,930	14,229	15,873
		受益者	4月1日現在高根町住民	(B)	417	398	378	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	B	官民の土地の境界を明確にするために必要な事業である。
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	官民の土地の境界を明確にするために必要な事業であり、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う事業であることから、事業主体となることは当然である。
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	B	未登記路線の延長が25,986mと多いため、莫大な時間と費用を要するため、継続して着実に遂行していく必要がある。
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	単備契約により土地家屋調査士協会に委託しており、適正である。
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	未登記処理をすることにより、市の行政財産とすることが出来る。
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価するために何が必要なかを記入)	・世代交代により、相続に関する課題も多くあり、地権者の了解を得るのに時間を要する。
--------------------------------------	---

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地元町内会の協力を得ながら現地確認を実施し、所有者の確認を着実に進めていく。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		94199	花いっぱい運動事業		担当課	高根支所 地域振興課		内線
		番組						3712
予算	会計	1	一般会計		特別 位置 付け 算の		A 合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費			○	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費				C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	社会教育総務費				D その他事業	
根拠計画		地域振興計画						
市長公約		4	個人・家庭・地域を大切にするとする社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニケーション活動や環境整備事業の予算枠を確保します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)		高根支所地域全住民	対象者数	378 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・高根地域独特の自然環境を活かした山野草を植栽することで、地域を花で飾り、観光客へのイメージアップと住民への愛着心を高揚させる。		
概要	事業の実施手法(手段)	・花いっぱい用の山野草苗購入 ・花壇整備・管理・花苗の植栽等を高山市シルバー人材センターへ委託		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・山野草花苗購入 285千円 ・花壇維持管理業務 475千円				
指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	花いっぱい花壇の整備個所数	箇所	目標値	11	11	11
			実績値	11	11	-
			算出根拠等	達成率(%)	100	100
成果指標	花を楽しむことができる期間	月	目標値	3	5	5
			実績値	3	5	-
			算出根拠等	達成率(%)	100	100
活動指標	小学生の郷土学習	学年	目標値	1	1	1
			実績値	1	1	-
			算出根拠等	達成率(%)	100	100
			目標値			
			実績値			-
			算出根拠等	達成率(%)		
			目標値			
			実績値			-
			算出根拠等	達成率(%)		
			目標値			
			実績値			-
			算出根拠等	達成率(%)		
補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出(千円)(A)		760	760	800	
	財源内訳					
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		760	760	800	
	コスト指標	受益者1件当たり(円)(A／B)	20	24	24	
	受益者 6～10月の道の駅利用者(B)	37,080	32,090	34,000		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A		・花いっぱい運動を高根地域全域にという地域からの要望がある。 ・山野草のファンには大変ニーズが高く、他の地域で見ることが出来ない山野草花壇は人気が高い。 ・高根地域の自然景観と調和した山野草に関心を示し、訪れる方が多い。また、開花期とともに訪れる写真愛好家も増えてきている。	
			B (1)	ある程度のニーズがある				
			C (0)	ニーズが低い				
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	B		・花壇は国道361号線沿いに広範囲に整備されていて、町内会等での管理は困難であり、市が実施しないと維持できない。	
			B (1)	一部見直しが必要である				
			C (0)	市が実施する必要性が低い				
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A		・高根地域独特の山野草を育苗し、群生させている取り組みは、既に高い評価を受けている。	
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている				
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である				
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A		・補植を中心とするなど最小限のコストで実施している。	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている				
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である				
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A		・高根地域独特の自然環境に適した山野草を植栽し、地域の環境に相适应しい花かざりで、訪れる観光客へのイメージアップは勿論のこと、地域住民の愛着心と意識の高揚につながっている。	
			B (1)	ある程度効果があった				
			C (0)	あまり効果が見られなかった				

合計		9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・多年草の山野草が定着したら、苗の購入は少なくなるが花壇の管理業務は必要である。 ・初夏から晩秋に開花する山野草の品種が多種多様になったことで、管理面において、山野草に熟知した指導者の育成が急務である。
---------------------------------------	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・山野草花壇の維持管理。 ・昨年、猪の被害にあった花壇の整備及び秋開花の山野草の補植を中心に実施し、山野草花壇を充実させる。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		94699	地域文化振興事業		担当課	高根支所 地域振興課		内線
		番組						3721
予算	会計	1	一般会計		特別 位置 付け 算の		A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	9	教育費			○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	4	社会教育費				C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	2	文化振興費				D	その他事業
根拠計画			地域振興計画					
市長公約		9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 心の中の生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気作りにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させていく					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どうい状態にしたいのか(意図)	・文化芸能祭を通して、地域の伝統・文化を再認識し、地域への愛着、郷土意識を高める事ができる。 ・地域の文化振興と地域コミュニティの推進を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・高根地域の文化芸能祭の運営費を社会教育推進協議会へ補助する。		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・高根地域の文化芸能祭の運営費を社会教育推進協議会へ補助。						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
活動指標	高根地区文化祭の開催回数		回	目標値	1	1	1	
				実績値	1	1	-	
成果指標	算出根拠等	高根社教資料		達成率(%)	100	100	-	
	高根地区文化祭の参加人数		人	目標値	200	200	200	
成果指標				実績値	250	250	-	
	算出根拠等	高根社教資料		達成率(%)	125	125	-	
成果面				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値			1	
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
	補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			150	150	150		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			150	150	150	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A÷B)			360	377	397	
		受益者	4月1日現在高根町住民 (B)		417	398	378	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・高根地域の少子高齢化が加速する中において、文化交流を通じて地域の絆を図ることのニーズは高い。
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・地域の公民館等において開催される文化芸能祭等に対し助成されているものである。
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	A	・この事業は住民の意識も高く、参加率も高いことから十分達成している。
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・この事業は地域の公民館等において開催される文化芸能祭等に対し助成されているものであり、社教推進委員が手作りで最小限のコストで最大の地域活性を図るために実施しているものである。
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・高根地域の少子化高齢化が加速する中において、文化交流を通じて芸能文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出また、地域性住民の集いの場となり地域の連携を図り生きがいと活力ある地域づくりにつながっている。
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		9	/	10	→	100点換算	90	点
----	--	---	---	----	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・事業内容見直しと今後の補助に対する検討が必要。
--	--------------------------

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
-----------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域の自主事業として実施できるよう、補助内容等について検討する。
-----------------	-----------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	95199		地域スポーツ振興事業	担当課	高根支所 地域振興課		内線
	番種						3712
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 予 算 の		A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	9	教育費		○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	5	保健体育費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	2	体育施設費			D	その他事業
根拠計画							
市長公約		9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させていく。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・各軽スポーツを通して、地域の連携と健康増進を高めることができる。 ・地域のスポーツ振興と地域コミュニティの推進を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・高根地域の軽スポーツ大会、ふれあい運動会の運営費を社会教育推進協議会へ補助する。		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・高根地域のスポーツ振興事業運営する社会教育推進協議会へ補助						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果面	活動指標	軽スポーツ交流大会等の開催回数	回	目標値	5	5	4	
				実績値	5	4	-	
	算出根拠等	高根社教資料		達成率(%)	100	80	-	
	成果指標	高根地区軽スポーツ大会等参加者数	人	目標値	360	360	250	
				実績値	248	215	-	
	算出根拠等	高根社教資料		達成率(%)	69	60	-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-		
補足事項								
・軽スポーツ交流により高根地域の住民が集い、マンネリ化した生活や心に潤いを醸し出すとともに、地域の連帯感を高め住民の健康・体力の向上と維持、生きがいづくりの場となっている。								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			400	400	400		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	コスト指標	一般財源			400	400	400	
		受益者1件当たり(円) (A／B)			959	1,005	1,058	
		受益者	4月1日現在高根町住民 (B)		417	398	378	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A		・高根地域の少子高齢化が加速する中において、軽スポーツ交流を通して地域の連携を図ることのニーズは高い	
			B (1)	ある程度のニーズがある				
			C (0)	ニーズが低い				
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A		・地域住民全員を対象とし、公民館等において開催される軽スポーツ交流大会等に対し助成されているものである。	
			B (1)	一部見直しが必要である				
			C (0)	市が実施する必要性が低い				
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげられている	A		・ふれあい運動会を筆頭に、参加率も高いことから十分達成している。なお事業内容がマンネリ化しているという意見があることから、社教と調整しながら事業内容を見直す必要がある。	
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている				
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である				
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B		・事業の効率化・省力化・費用についても毎年検討されているところであるが、特例期間終了を見据えて社教と協議していく必要がある。	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている				
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である				
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A		・高根地域の少子高齢化が加速する中において、軽スポーツ交流を通して地域住民が集い、地域の連携を図り、生きがいと活力ある地域づくりにつながっている。	
			B (1)	ある程度効果があった				
			C (0)	あまり効果が見られなかった				

合計		9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題 (F)評価にするために何が必要なかを記入)	・高根地域住民が集う場で参加率も高い事業ではあるが、少子高齢化に伴う事業内容見直しと、今後の補助に対する検討が必要。
--	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
-----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域の自主事業として実施できるよう、補助内容等について検討する。
-----------------	-----------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		20899		遊休施設解体事業	担当課	高根支所 地域振興課		内線	
		番付						3720	
予算	会計	1	一般会計		特別 予算 付け の	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	2	総務費			B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	1	総務管理費			○	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	2	財産管理費			D	その他事業		
根拠計画									
市長公約		10	市民のための行政改革を実施します ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・使用されていない構築物、建物等の処分		
概要	事業の実施手法(手段)	・不用構築物、建物等の処分解体		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績		遊休施設解体 4箇所(野麦峠野営場、阿多野郷トイレ、温室、旧日和田保育所)					
	指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	遊休施設解体処分		件	目標値		4	1
					実績値		4	-
		算出根拠等	高根支所	達成率(%)		100	-	
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-	
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-	
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-	
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-	
	補足事項							
	コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
		歳出(千円) (A)			0	9,416	1,300	
財源内訳		受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源				9,416	1,300	
コスト指標		受益者1件当たり円) (A/Ｂ)			0	23,658	3,439	
		受益者	4月1日現在高根町住民 (B)		417	398	378	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・使用されていない構築物、建物等の処分を行い、安心安全な市民生活を保つため、ある程度のニーズがある。
			B (1) ある程度のニーズがある		
			C (0) ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・使用されていない市有財産の処分を行い、適正な維持管理業務が遂行される。
			B (1) 一部見直しが必要である		
			C (0) 市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・使用されていない市有財産の処分を行い、適正な維持管理業務が遂行される。
			B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・最小限のコストとなるよう努めている。
			B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・使用されていない構築物、建物等を処分することで、安心安全な市民生活が保たれ適正な維持管理業務が遂行される。
			B (1) ある程度効果があった		
			C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (「A」評価にするために何が 必要なかを記入)	現有施設の利用状況の把握と今後の利用について検討が必要である。
--	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	現有施設の利用状況の把握と今後の利用について検討が必要である。
---	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況	施設の維持管理等を検討し、不要となる施設については解体の検討を行う。
---------------------	------------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		20899		地域財産管理事業	担当課	高根支所 地域振興課		内線
		専任						3720
予算	会計	1	一般会計		特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費			B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	財産管理費			○ D	その他事業	
根拠計画		地域振興計画						
市長公約								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市有地の適正管理		
概要	事業の実施手法(手段)	・市有地を含めた子ノ原高原の土地、道路等の適正な維持管理		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・市所有面積2,800坪に応じた負担金76,020円＝(1,000坪×40円+1,800坪×18円)×1.05					
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	財産管理面積	坪	目標値	2,800	2,800	2,800
				実績値	2,800	2,800	-
	算出根拠等	財産台帳	達成率(%)	100	100	-	
	成果指標	当該財産の見回り点検	日	目標値	7	7	7
				実績値	7	7	-
	算出根拠等	子ノ原管理用報告	達成率(%)	100	100	-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)			77	77	77	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	コスト指標	一般財源		77	77	77	
		受益者1件当たり(円) (A／B)		185	193	204	
	受益者	4月1日現在高根町住民 (B)	417	398	378		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	C	・市有地の適正な管理は、市の財産を守る上からも全市民への市有地の適正な管理及び地域を訪れる観光客等へのイメージアップにも波及効果がある。
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	B	・財産を所有している限りは適正な管理が必要である。 ・使用目的が無い
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	B	・適正に管理されている。
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	評価対象外	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	評価対象外	
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

分析・評価で明らかにになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・財産を所有している限りは負担が必要であり、今後、有効活用や処分について、統一的な考え方にに基づき検討が必要である。
--	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・財産を所有している限りは負担が必要である。他の市有財産の処分等統一的な考え方にに基づき実施する。
-----------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・他の未利用となっている市有地や施設等の売却等処分について、統一的な考え方の検討の実施。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	O	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	O	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		31399		地域老人福祉推進事業費 (土地開発基金保有土地買戻し)	担当課	高根支所 地域振興課		内線
		番組						3711
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	3	民生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	1	社会福祉費		○	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	2	老人福祉費		D	その他事業		
根拠計画								
市長公約		5	医療・福祉を充実させます ・地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者への地域福祉体制を整備します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか (意図)	・土地開発基金保有地(福祉センター用地)の買い戻しをする。		
概要	事業の実施手法 (手段)	・一般会計予算による福祉センター用地を買い戻し。 ・所在地 高山市高根町上ヶ洞字井ノ口340番地1ほか1筆 5,741㎡ ・貸付金額 14,352,500円 ・利息 1,614,480円 ・合計 15,966,980円 ・取得年月日 平成7年7月20日		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		※該当なし						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
	活動指標	土地開発基金買戻し面積	㎡	目標値			10,000	
				実績値			-	
		算出根拠等	土地開発基金台帳		達成率(%)			-
	成果指標	土地開発基金買戻し率	%	目標値			140	
				実績値			-	
		算出根拠等	買戻し面積/土地開発基金取得面積		達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-
			目標値					
			実績値			-		
	算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			0	0	16,000		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源					16,000	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)					42,328	
受益者		4月1日現在高根町住民 (B)				378		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	評価対象外			
			B (1)	ある程度のニーズがある				
			C (0)	ニーズが低い				
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	評価対象外			
			B (1)	一部見直しが必要である				
			C (0)	市が実施する必要性が低い				
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外			
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている				
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である				
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	評価対象外			
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている				
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である				
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	評価対象外			
			B (1)	ある程度効果があった				
			C (0)	あまり効果が見られなかった				

合計		/	→	100点換算	評価対象外	点
----	--	---	---	--------	-------	---

分析・評価で明らかにになった課題 (「A」評価にするために何が 必要なかを記入)	
--	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	
-----------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況	H26年度のみ
---------------------	---------

次年度の 実施方針 (担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	O	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	O	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		31399		地域老人福祉推進事業費 (冬季高齢者住宅開設事業)	担当課	高根支所 地域振興課		内線
		専任						3720
予算	会計	1	一般会計		特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	3	民生費			B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	社会福祉費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	老人福祉費			O	その他事業	
根拠計画			地域振興計画					
市長公約		5	医療・福祉を充実させます ・在宅介護支援を含め、高齢者集合住宅の拡充施策に取り組みます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上の市民	対象者数	26,737 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・空き施設の有効利用と高齢者が安心して暮らせる地域づくりをめざすことを目的とする。		
概要	事業の実施手法(手段)	・冬季高齢者住宅開設 開設期間 12月～翌3月 事業主体 高山市社会福祉協議会 旧学校教員住宅を使用 施設利用に伴う施設改修、維持管理費		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・建物管理経費 332千円 ・社協への補助金 1,800千円				
指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	冬季高齢者集合住宅開設月数	月	目標値	4	4	4
			実績値	4	4	-
成果指標	施設利用者数	人	目標値	17	18	18
			実績値	9	10	-
算出根拠等	社福協資料		達成率(%)	100	100	-
			達成率(%)	53	56	-
算出根拠等			目標値			
			実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-
			実績値			-
算出根拠等			目標値			
			実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-
			達成率(%)			-
補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)		2,126	2,132	2,060	
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		2,126	2,132	2,060	
	受益者1件当たり(円) (A÷B)		236,222	213,200	114,444	
コスト指標	受益者	施設利用者数 (B)	9	10	18	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A		・冬季生活の安定を望む高齢者のニーズは高い。 ・高根地域の高齢化率は54%と高く、独居・高齢者世帯も多く、ニーズは高い。	
			B (1)	ある程度のニーズがある				
			C (0)	ニーズが低い				
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	B		・医療・福祉を充実させることは重要である。 ・事業主体は、高山市社会福祉協議会で実績も良好であり、継続して実施する。	
			B (1)	一部見直しが必要である				
			C (0)	市が実施する必要性が低い				
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A		・12月から翌3月まで安定して開設しており、高齢者の安心・安全を確保している。	
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている				
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である				
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B		・事業内容を精査しながら改善、工夫に取り組んでいる。 ・除雪をはじめとする問題で、自宅での生活が困難になる冬季に限って開設している。	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている				
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である				
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B		・退休市有施設の再利用により地域福祉医療の充実と地域活性化を図ることの有効性は高い。	
			B (1)	ある程度効果があった				
			C (0)	あまり効果が見られなかった				

合計		7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・冬季利用だけではなく、その他の季節の有効活用の検討や入居者の負担割合等について協議が必要である。また、入居者の確保が必要である。
--	---

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・冬期間とじこもりがちな高齢者に「集団生活」による安心感を提供し、地域の高齢者への支援策として重要な事業であることから継続する。また、今年度の検討結果を踏まえて見直しを行い継続する。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域の自主事業として実施できるよう、運営のあり方や利用者負担額等を検討する。また、冬季以外の季節での利用方法の検討。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		42299		食用廃油回収事業	担当課	高根支所 基盤産業課		内線
		番組						3742
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	4	衛生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	2	清掃費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	2	塵芥処理費		O	D	その他事業	
根拠計画				地域振興計画				
市長公約		8	豊かな自然を守り、環境モデル都市をつくります。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きている全ての人が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・食用廃油を回収して、精製処理し、リサイクル燃料として使用することにより、市民のリサイクル意識の向上を図るとともに、地域温暖化対策を推進する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・一般家庭より排出される食用廃油、隔月で年6回、4箇所の資源ごみ拠点集積所で回収する。 ・回収した食用廃油は、朝日支所の処理施設で精製し、公用車の燃料(BDF)として活用する。		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		年12回 回収量69. 5ℓ					
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	食用廃油回収所	箇所	目標値	4	4	4	
			実績値	4	4	-	
			達成率(%)	100	100	-	
成果指標	食用廃油回収量	ℓ	目標値	100	100	100	
			実績値	71	70	-	
			達成率(%)	71	70	-	
成果面			目標値				
			実績値			-	
			達成率(%)			-	
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
算出根拠等			目標値				
			実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
・一般家庭より排出される食用廃油、年6回4箇所の資源ごみ拠点集積所で回収する。 ・回収した食用廃油は、朝日支所の処理施設で精製し、公用車の(BDF)として活用する。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)			38	19	30	
	財源内訳						
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			38	19	30	
	受益者1件当たり(円) (A÷B)			91	48	79	
コスト指標	受益者	4月1日現在高根町住民 (B)	417	398	378		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	B		・住民のリサイクル意識、再資源化に向けたニーズがある。	
			B (1)	ある程度のニーズがある				
			C (0)	ニーズが低い				
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	B		・地球温暖化対策、環境対策につながることから政策的な重要性は高い。 ・民間による回収ルートが確立されつつあり検討が必要である。	
			B (1)	一部見直しが必要である				
			C (0)	市が実施する必要性が低い				
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B		・回収率が減少しているがリサイクル意識の向上が図られている。	
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている				
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である				
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B		・シルバー委託によりコスト縮減がある程度はかかれている。	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている				
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である				
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B		・リサイクル意識の向上を更に図っていく必要がある。	
			B (1)	ある程度効果があった				
			C (0)	あまり効果が見られなかった				

合計		5	/	10	→	100点換算	50	点
----	--	---	---	----	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題 (「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・市民のリサイクル意識向上に向けた更なる取り組みにより、回収量増加を図る必要がある。
--	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市的に事業の実施方針・規模について検討する必要がある。
-----------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・事業の必要性や効果を考慮しながら継続の可否の検討をする。
-----------------	-------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		51399		ワークキャンプ活用事業	担当課	高根支所 基盤産業課		内線	
		番組						3742	
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事			
	款	5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
	項	1	農業費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
	目	2	農業振興費		O	その他事業			
根拠計画				地域振興計画					
市長公約		3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎次世代につながる農業を確立します ・飛騨高山のブランドにふさわしい、生産者の顔が見える安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	タカネコーン生産組合	対象者数	30 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・タカネコーン生産組合が主催する「タカネコーン収穫祭」のスタッフとしてNPO法人NICEから受け入れし、人手不足の解消とブランド化の推進に資する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・NPO法人NICEへの負担金		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・NPO法人NICEへの負担金99,113円 ・8/23～8/25 ワークキャンプ開催						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
活動指標	NPO法人NICEへの負担金		千円	目標値	100	100	3	
				実績値	51	99	-	
	算出根拠等			達成率(%)	51	99	-	
成果指標	タカネコーン販売額		千円	目標値	5,200	5,500	1	
				実績値	5,580	6,670	-	
	算出根拠等		タカネコーン生産組合資料	達成率(%)	107	121	-	
成果指標	タカネコーン販売数		千本	目標値	22	32	30	
				実績値	31	29	-	
	算出根拠等		タカネコーン生産組合資料	達成率(%)	141	91	-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			51	99	100		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			51	99	100	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A÷B)			1,700	3,300	3,333	
		受益者	効ネコーン生産組合農家数 (B)		30	30	30	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・地域の高齢化により、収穫祭のスタッフを確保するのが困難な状況にあり、生産組合からの要望が強い。
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	B	・飛騨高山のブランドにふさわしい付加価値の高い産地産品づくりに資するものであるが、定着化されれば組合事業として移行できる。
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	・生産組合を構成する農家が高齢化してきている中で、前年度以上の販売額を上げていて、成果はあがっている。
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・生産組合とNICEとの交流がこれまで継続している中で、コスト縮減のために他のボランティアの受入等については慎重に検討する必要がある。 ・必要最小限の経費で、組合でも食料等を負担している。
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・標高の高さを生かし栽培される糖度の高いタカネコーンは、市公約の「飛騨高山のブランドにふさわしい、付加価値の高い産地産品づくりに取り組みます」に該当し、政策面での効果は大きい。
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・地域の代表的な農産物であるタカネコーンのブランド力を維持していくため今後も継続も継続していくことが理想であるが、生産組合の体制強化により組合独自の事業として以降する方向で検討する必要がある。
--	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・一時的なスタッフの確保に対する負担金支出であることから、ブランド力強化のための別の方策を考える必要がある。
-----------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・生産組合と今後の実施方針等を調整する。
-----------------	----------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	野麦峠における交流促進事業		担当課	高根支所 地域振興課		内線
	番社						3712
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	観光振興費		O	その他事業	
根拠計画		地域振興計画					
市長公約		1	積極的な観光振興策を実施します。 ・最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・江戸時代からの交通の要所として、飛騨から塩竈が運ばれたぶり街道として、小説や映画「あゝ野麦峠」で全国に知られる野麦峠を中心とした観光PRにより、観光客の増加を図るとともに、隣接する松本市や映画上映会がきっかけとなり交流が深まった岐阜市柳ヶ瀬商店街と連携しながら野麦峠の情報を発信する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・野麦峠まつり(糸引き工女行列再現) ・高根・つながる・柳ヶ瀬 ・旧野麦街道(糸引きの道)モニターツアー		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・野麦峠まつり⇒再現！糸引き工女行列 ・高根・つながる・柳ヶ瀬⇒縁結び協定締結(特産品の販売、地域(団体)交流) ・旧野麦街道(糸引きの道)モニターツアー 野麦峠PRのため、上記イベント経費の一部を負担。						
		指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
		活動指標	イベント回数	回	目標値	3	3	3
					実績値	3	4	-
算出根拠等		飛騨高根観光協会資料		達成率(%)	100	133	-	
活動指標	松本市との交流イベント	回	目標値	1	1	-	1	
			実績値	1	1	-		
	算出根拠等		飛騨高根観光協会資料		達成率(%)	100	100	-
	活動指標	岐阜市柳ヶ瀬商店街との交流イベント	回	目標値	1	1	-	1
実績値				1	1	-		
算出根拠等		飛騨高根観光協会資料		達成率(%)	100	100	-	
活動指標	野麦峠年間入込客数	人	目標値	25,000	25,000	-	21,000	
			実績値	20,705	19,985	-		
	算出根拠等		観光動態調査		達成率(%)	83	80	-
				目標値			-	
実績値						-		
算出根拠等				達成率(%)		-		
			目標値			-		
			実績値			-		
算出根拠等				達成率(%)		-		
補足事項								

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出(千円)(A)			300	300	300	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
		一般財源			300	300	300
	コスト指標	受益者1件当たり(円)(A÷B)			719	754	794
		受益者	4月1日現在高根町住民(B)		417	398	378

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・地域の活性化と生活基盤の確立のため、野麦峠を中心とした観光産業は欠かせない存在である。また、野麦峠の歴史は市民の誇りであり市民のニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・野麦峠を中心とした観光客は市としても重要であり、一定の助成は必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・イベントには県内外より多数の来客があり、観光PR効果は十分である。 ・入込み客数は減少しつつあるが、全国的に観光客が落ち込んでいるため、今後も地道な取り組みが必要である。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・事業のコストは縮減等がある程度図られている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・松本市との合同開催により、同市との交流が図られている。 ・また、両市の観光PRの相乗効果で、イベントには県内外より多数の来客があり、観光PR効果も充分である。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・民間(観光関係団体等)が運営可能な体制づくりの構築に向けて、実行委員会を組織することで、民間へ移行することができたが、事務局体制の組織強化が必要である。
--	---

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・民間(観光関係団体等)主体への移行について検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の支援を縮小していく必要がある。
----------------------	---

今後の方向性(Action)	課題等に対する今年度の対応状況	・民間(観光関係団体等)と協力、引き継ぎをしながら運営体制を作るため、高根町元氣イベント実行委員会の組織強化を図る。
----------------	-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	O	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	O	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		62399		地域観光施設事業	担当課	高根支所 地域振興課		内線
		番組						3722
予算	会計	1	一般会計		特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費			B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	観光施設費			O	D その他事業	
根拠計画		地域振興計画						
市長公約		1	積極的な観光振興策を実施します ◎最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どうい状態にしたいのか(意図)	・野麦峠を中心とした観光施設について、危険性のある個所や利用者からの不満が多い個所について改善していくことで、観光客の満足度をアップさせ、誘客に結び付ける。		
概要	事業の実施手法(手段)	・お助け小屋修繕、温泉タンクの撤去などの観光施設について小規模修繕等を実施する。		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		お助け小屋前の橋修繕架替、野麦峠公衆トイレ横丸太階段修繕、野麦峠駐車場周辺樹木伐採、野麦峠周遊コース橋架替					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	修繕箇所	箇所	目標値	2	7	10,000	
			実績値	2	7	-	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	-	
成果指標	野麦峠観光客数	人	目標値	25,000	22,500	140	
			実績値	18,947	17,158	-	
	算出根拠等	野麦峠年間入込客数(観光動態調査)	達成率(%)	76	76	-	
成果面			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)			1,229	4,746	3,000	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
		一般財源		1,229	4,746	3,000	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)		65	277	143	
		受益者	野麦峠観光客 (B)	18,947	17,158	21,000	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	B		・観光施設の維持、修繕については、観光客等の安心安全或いはイメージアップの観点からもある程度の市民ニーズがある。	
			B (1)	ある程度のニーズがある				
			C (0)	ニーズが低い				
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A		・峠に存在する観光施設は市が所有しており、峠一帯の整備は市の責務である。	
			B (1)	一部見直しが必要である				
			C (0)	市が実施する必要性が低い				
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B		・新緑・紅葉時期等、峠周辺を散策する観光客の安全に寄与している。	
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている				
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である				
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A		・施設の維持管理・運営に必要な最小限の修繕を施した。	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている				
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である				
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A		・市有施設の修繕により、訪れる市民・観光客の利用の利便が図られた。	
			B (1)	ある程度効果があった				
			C (0)	あまり効果が見られなかった				

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・野麦峠を中心とした高根地域への観光誘客策の推進
--	--------------------------

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・施設評価に基づき、必要性等について再検討する必要がある。
-----------------------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・高根地域の観光については、根強いファンやリピーターも多いことから、訪ねられた方に満足していただけるような施設整備と施設運営を実施。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		72299		住みよい地域づくり事業	担当課	高根支所 基盤産業課		内線
		番組						3731
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	2	道路橋りょう維持費		O	D	その他事業	
根拠計画		地域振興計画						
市長公約		6	市民の生活と生命・財産を守ります。 ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客(高根支所地域全住民)	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・集落間を結ぶ市道の除草等により、市民及び観光客等の通行の安全確保を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・シルバー人材センターへの委託		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・市道5路線 8.5kmの草刈及び清掃						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
活動指標	実施路線数		路線	目標値	5	5	10,000	
				実績値	5	5	-	
	算出根拠等		仕様書	達成率(%)	100	100	-	
成果指標	実施延長		m	目標値	8,500	8,500	140	
				実績値	8,500	8,500	-	
	算出根拠等		仕様書(市道台帳より)	達成率(%)	100	100	-	
成果面				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			567	567	500		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			567	567	500	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A÷B)			1,360	1,425	1,323	
		受益者	4月1日現在高根町住民 (B)		417	398	378	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	高齢化が進む中、集落間道路の草刈、清掃について、地域住民では対応できなくなったため要請がある。
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	市道の維持管理事業であり、生活道路の環境保全からも市が実施するもの。
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	市民・観光客等の通行の安全が確保されている。
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	適正な実施に向け、シルバー人材センターと打合せを行い効率化を図っており、最低限のコストで事業を実施している。
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	地域景観・環境の保全、市道の安全確保、市長公約の実現が図られている。
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・これまで各地域ごとに協力して草刈等を行ってきたが、高齢化により実施が難しい地域が増加しており、今後益々市が実施する割合が高くなることが予測される。
--	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域の需要に応え、安全安心な生活道路を確保するため継続する。
-----------------	---------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		95299		地域体育施設維持管理事業	担当課	高根支所 地域振興課		内線
		専任						3712
予算	会計	1	一般会計		特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費			B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5	保健体育費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	体育施設費			O	その他事業	
根拠計画				地域振興計画				
市長公約			高地トレーニングエリアの誘客宣伝及び雇用促進					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	飛騨高山御嶽トレーニング利用者	対象者数	2,300 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・高地トレーニング強化拠点施設として、夜間もグラウンドを利用できることで利用者の増を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・飛騨高山御嶽トレーニングセンターのグラウンド夜間照明施設の維持管理		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・夜間照明施設電気料					
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	看板の設置		基	目標値	5	0	
				実績値	4	0	-
	算出根拠等			達成率(%)	80	0	-
活動指標	飛騨高山御嶽トレーニングセンターの利用者		人	目標値	2,200	2,300	2,300
				実績値	1,726	1,841	-
	算出根拠等 高トレセンター資料			達成率(%)	78	80	-
活動指標	飛騨高山御嶽トレーニングエリアの利用者		人	目標値	19,000	19,200	19,200
				実績値	16,149	14,819	-
	算出根拠等 高トレセンター資料			達成率(%)	85	77	-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)			385	23	150	
	財源内訳						
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			385	23	150	
	受益者1件当たり(円) (A÷B)			223	12	65	
コスト指標	受益者	飛騨高山御嶽トレーニングセンター利用 (B)	1,726	1,841	2,300		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	B		・夜間照明は高トレ選手及び消防の練習にも利用されている。	
			B (1)	ある程度のニーズがある				
			C (0)	ニーズが低い				
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A		・市の施設である高トレセンターの維持管理・誘導に要する費用及びエリア全体を宣伝していくためのものであり、市が行うもの。	
			B (1)	一部見直しが必要である				
			C (0)	市が実施する必要性が低い				
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B		・夜間照明は夏季の利用のみである。	
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている				
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である				
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A		・利用状況に合わせ、夜間電気料金の効率化を図る。	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている				
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である				
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があつた	A		・団体利用者によるレクリエーション等の活用に際して、安全確保が図られた。	
			B (1)	ある程度効果があつた				
			C (0)	あまり効果が見られなかった				

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題 (「A」評価にするために何が 必要なかを記入)	・グラウンド(夜間照明施設)の利用者を増やす必要がある。
--	------------------------------

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。
-----------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況	・夜間利用ができるPRや利用の促進。
---------------------	--------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		20999		地域振興助成事業	担当課	高根支所 地域振興課		内線
		専任						3720
予算	会計	1	一般会計		特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費			B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	企画費			D	その他事業	
根拠計画		地域振興計画						
市長公約		「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民自らが主体となって取り組む地域振興事業を支援する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくりへの補助		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		野麦地区環境整備事業、中之宿地区美化運動事業、高根地域のお宝魅力発信事業、国指定天然記念物「一位森八幡神社社叢のキハダの木」の保護事業、青水の滝 看板設置事業、高根まるごとキャンペーン事業、第4回Snow Candie Night In 高根、上ヶ洞地内掲示板設置事業、アンテナショップ運営事業						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果面	活動指標	地域振興事業補助金採択件数	件	目標値	10	10	10	
				実績値	11	9	-	
				算出根拠等	達成率(%)	110	90	-
	成果指標	地域振興事業補助金実績額	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	
				実績値	1,853	2,382	-	
				算出根拠等	達成率(%)	74	95	-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
	補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			1,853	2,382	2,500		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			1,853	2,382	2,500	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A÷B)			4,444	5,985	6,614	
		受益者	4月1日現在高根町住民 (B)		417	398	378	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A		・美化運動・、国指定天然記念物「一位森八幡神社社叢のキハダの木」の保護事業、・地域活性化事業等様々なニーズがある。	
			B (1)	ある程度のニーズがある				
			C (0)	ニーズが低い				
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A		・この補助金により地域住民自らが主体となって取り組むことが出来る。	
			B (1)	一部見直しが必要である				
			C (0)	市が実施する必要性が低い				
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A		・各団体の意図する事業が行われた。尚、執行率が95.2%に達している。	
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている				
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である				
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A		・それぞれ最小限のコストとなるよう努めている。	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている				
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である				
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A		・、国指定天然記念物「一位森八幡神社社叢のキハダの木」の保護事業による文化財保護や環境整備、また地域の情報発信につながるPR事業などは「高根地域の個性あるまちづくり」に効果があった。	
			B (1)	ある程度効果があった				
			C (0)	あまり効果が見られなかった				

合計		10 / 10	→	100点換算	100 点
----	--	---------	---	--------	-------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・将来的に補助できないものについては、その旨を団体に説明しなければならない。又、内容によっては一般予算の補助制度に該当する事業に見直すなど調整が必要である。
---------------------------------------	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。
----------------------	---

課題等に対する今年度の対応状況	・新規事業については、単年度で完結、あるいは終了後は補助なしで継続できるよう協議しながら実施する。 ・継続事業については、事業内容等の見直しにより、他の補助制度等に移行可能な事業は移行する。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		20999		地域要望対応事業	担当課	高根支所 地域振興課		内線
		番組						3711
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	2	企画費		O	D	その他事業	
根拠計画				地域振興計画				
市長公約		「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市有施設で地域からの要望に即応するもの		
概要	事業の実施手法(手段)	・市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		花卉育苗施設屋根修繕、上ヶ洞水路修繕、小日和田地内道路修繕ほか						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
活動指標	地域要望対応事業採択件数		件	目標値	10	10	10	
				実績値	7	6	-	
	算出根拠等			達成率(%)	70	60	-	
成果指標	地域要望対応事業実績額		千円	目標値	4,000	3,900	7,100	
				実績値	3,710	2,836	-	
	算出根拠等			達成率(%)	93	73	-	
成果面				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-		
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			3,710	2,836	7,100		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			3,710	2,836	7,100	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A÷B)			8,897	7,126	18,783	
		受益者	4月1日現在高根町住民 (B)		417	398	378	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・広大な面積の高根地域にあって、施設などの老朽化も多く、市民が安心して暮らすための改善や要望は多くある。
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の修繕である。
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	A	・住民の要望に即応する事業であり、十分な成果があがっている。
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・最小限のコストで適正に実施されている。
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・市有施設の修繕により市民が安心して利用できるようになり、高根地域の個性あるまちづくり推進に寄与できた。
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		10 / 10	→	100点換算	100 点
----	--	---------	---	--------	-------

分析・評価で明らかにになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
--	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。
-----------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・市域全体の調整の中で、27年度以降の対応を検討する。
-----------------	-----------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討	○	H26完了予定

平成26年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名		21100	土地借上料	担当課	高根支所 基盤産業課		内線
		専決					
予算	会計	9	簡易水道事業特別会計	特別 位置 付け の		A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	2	総務費		○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	1	総務管理費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	2	一般管理費			D	その他事業
根拠計画							
市長公約		6	市民の生活と生命・財産を守ります。 ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易水道施設地主	対象者数	378 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・水道施設用地の借上料		
概要	事業の実施手法(手段)	市の基準を上回る土地賃貸借		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		簡易水道施設、資材置場土地賃貸借					
指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果面	活動指標	土地賃貸契約数	人	目標値	14	5	5
			実績値	14	5	-	
		算出根拠等	契約書	達成率(%)	100	100	-
	成果指標	給水人口	人	目標値	417	398	378
				実績値	392	371	-
		算出根拠等	台帳	達成率(%)	94	93	-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)			152	135	135	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
		一般財源			152	135	135
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)		30,400	27,000	27,000	
		受益者	基準外の土地所有者数 (B)	5	5	5	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	A	・安心安全な水の供給に対する市民の関心は高く、そのため施設の借上等は必要不可欠である。	
			B (1)	ある程度のニーズがある				
			C (0)	ニーズが低い				
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	A	・公益性から妥当である。	
			B (1)	一部見直しが必要である				
			C (0)	市が実施する必要性が低い				
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	A	・安心安全な上水道の提供に寄与している。	
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている				
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である				
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	B	・契約更新時に市の基準により契約できるよう所有者と引き続き交渉していく。	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている				
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である				
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	A	・安心安全な上水道の提供に寄与しており、政策の推進に効果がある。	
			B (1)	ある程度効果があった				
			C (0)	あまり効果が見られなかった				

合計		9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・土地賃貸料が市の基準となるよう所有者との単価交渉を継続的に進めた結果、基準外の土地所有者は減少してきた。 ・今後も安心安全な水の供給のため、引き続き交渉を継続する。
---------------------------------------	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・引き続き契約にあたり市の基準での単価交渉を進める。
----------------------	----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・次年度契約にあたり所有者と単価交渉をする。
-----------------	------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了予定